トルクレンチ（ロックボルトの締付に）

ソケットタイプ　標準タイプ

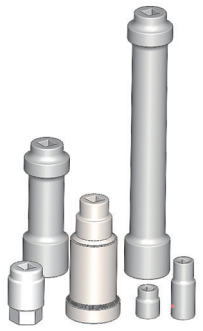
レンタル

置針を指針に合わせ負荷すれば、置針の移動により実トルク値が正確に読みとれるタイプです。
特殊ロングソケットを使用しているので、ボルトの余長が長い状態でも測定することが可能です。
※最大170mmの鋼棒が出ていても締めることができます。

DBシリーズ

DBEシリーズ

専用ソケット



呼　名	トルク能力範囲	最小目盛	差込□ (mm)	全長 (mm)	重量 (kg)
DB50N(-S)※	5～50N·m	0.5 N·m	□ 9.5	320	0.6
DB200N(-S)	20～200N·m	2 N·m	□12.7	500	1.0
DB280N(-S)	30～280N·m	5 N·m	□19.0	691	1.65
DB420N(-S)	40～420N·m	5 N·m		890	2.5
DBE700N(-S)	70～700N·m	10 N·m		1260	5.5
DBE850N(-S)	100～850N·m	10 N·m	□25.4	1361	6.1
DBE1400N(-S)	200～1400N·m	20 N·m		1740	8.6

※レンタル品のDB50N-S タイプは右回転のみの検査成績書になっております。

スパナタイプ　ボルトが長い時などに最適

レンタル

ダイヤル式トルクレンチのヘッド交換形です。最大値の読み取りに便利な置針を標準装備しています。

専用ソケット

対辺	19～55 ※特注品も製作可能

呼　名	トルク能力範囲	最小目盛	適用挿入部サイズ	全長 (mm)	重量 (kg)
CDB300NX22D-S	30～300N·m	5N·m	22D	720	1.65
CDB420NX22D-S	40～420N·m			920	2.7

トルク値の計算

トルクと張力の関係・・・・締付けトルク (N·m) ＝トルク係数×ボルト径×ボルト軸力kN×1000

例 D22の棒鋼を、軸力 25.87kN締付けを行う場合

0.35＝トルク係数 (各ロックボルトメーカーに問い合わせて下さい)
0.022m＝ボルト径
25870N＝ボルト軸力 (kNをNに変換するには1000倍する)

式　0.35 × 0.022m × 25870N = 199.2N·m

よって、199.2N·m締付ければよい